

平成28年度事業報告
(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

◆ 事業概要 ◆

平成28年度の国内の景気は緩やかな改善傾向にあるものの、中小企業においては売上の伸び悩みやコスト高、人手不足など構造的な課題を抱えており、実態として厳しい経営環境が継続しています。

このような中、当財団は、横浜市をはじめ関係機関等と連携を強化しながら、横浜経済の活性化と地域社会の健全な発展を目指して、引き続き、市内中小企業の総合支援事業と産業関連施設の管理運営事業を公益目的事業として実施するとともに、これらの公益目的事業を補完するため収益事業を実施しました。

◆ 実施事業 ◆

○ 公益目的事業

I 中小企業の総合支援事業（公1）

横浜市中心小企業支援センターとして、地域産業の基盤をなし、多様な雇用の担い手である中小企業等の経営基盤の安定・強化、経営革新、新事業創出、創業の促進、海外ビジネス展開支援、インキュベーション施設の管理運営等、総合的かつ継続的な支援を行い、横浜経済の活性化に寄与することを目的として次の事業を実施しました。

- 1 経営支援事業
- 2 技術支援事業
- 3 国際ビジネス支援事業
- 4 産業活性化・金融支援事業
- 5 横浜メディア・ビジネスセンター管理運営事業
- 6 インキュベーション施設の管理運営事業

II 産業関連施設の管理運営事業（公2）

都心部でのにぎわいの創出とメディア・情報関連産業の拠点となる施設、及び金沢産業団地での企業活動の円滑化と勤労者の福利厚生を充実するための施設を管理運営し、地域社会の健全な発展に寄与することを目的として、次の事業を実施しました。

- 1 横浜情報文化センター管理運営事業
- 2 横浜メディア・ビジネスセンター管理運営事業
- 3 横浜市金沢産業振興センター管理運営事業

○ 収益事業

公益目的事業を実施するための補完として、駐車場貸付のほか、収益事業を実施しました。

I 中小企業の総合支援事業（公1）

1 経営支援事業

(1) 中小企業支援センター運営事業

「横浜市中小企業支援センター」として市内中小企業を総合的に支援するため、窓口相談事業をはじめ、経営課題解決のための専門家派遣、セミナー、情報発信等各種事業を実施しました。

また、市内の中小企業及び創業者支援の一環として、3月に神奈川県中小企業診断協会と、市内中小企業のIoT導入活用支援を主目的とした覚書を締結しました。



県診断協会と中小企業のIoT導入活用等支援に関する覚書を締結

ア 窓口相談事業

中小企業診断士の資格を持つ「窓口相談員」や「横浜ビジネスエキスパート（中小企業診断士、弁護士、弁理士、司法書士等152名登録）」が、財団本部の相談窓口などで総合的な相談事業を実施しました。

また、区役所（鶴見、金沢、都筑）との共催で、出張相談会を開催しました。

(7) 経営相談窓口

「窓口相談員」が窓口や電話による経営相談を行いました。

平成28年度は、ビジネスプラン、IT、税務等に関する相談が増加した一方、経営全般に関する相談が減少しました。

- ・相談件数 3,644件【3,513件】
- ・創業相談件数 2,424件【2,343件】
- ・相談内容（件）

経営全般	資金	ビジネスプラン	マーケティング	IT	税務	会社設立	法律
1,083	818	451	385	167	144	134	134
労務	取引適正化	特許	技術	事業提携	ISO	その他	合計
71	32	15	12	9	2	187	3,644

(4) 法律・労務・税務・IT相談

弁護士、社会保険労務士、税理士、中小企業診断士等の専門家が毎週1回程度、曜日を定めて窓口で相談対応を行いました。

- ・相談件数

法律相談（火曜日）	90件【66件】
労務相談（2、4水曜日）（再掲）	22件【12件】
税務相談（1、3、5水曜日）（再掲）	32件【41件】
IT相談（木曜日）（再掲）	82件【82件】
- ・相談内容 店舗等貸借借やリース契約のトラブル、雇用に伴う手続き、ホームページのアクセス数アップ等

(ウ) エキスパート面談

横浜ビジネスエキスパートによる専門家相談を行いました。

- ・相談件数 178件【184件】
- ・相談内容（件）

経営全般	IT	特許	法律	マーケティング	税務
89	53	9	7	7	5
会社設立	労務	ISO	その他	合計	
2	2	0	4	178	

イ 創業支援チーム事業

創業に関する各種相談に対応し、創業前の準備から創業後の課題解決まで、財団職員と経営相談員で構成する「創業支援チーム」が継続的な支援を行いました。

- ・相談件数 2,424件（再掲）【2,343件】

ウ 地域相談窓口事業

横浜市金沢産業振興センター2階のワンストップ経営相談窓口にて総合的な経営相談に対応するとともに、金沢産業団地内の企業や団体等を訪問し、横浜市をはじめ国・県等の助成金など、各種支援施策の利用促進を行いました。

また、一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会や独立行政法人中小企業基盤整備機構と連携して、経営セミナーを開催しました。

(7) 経営相談窓口

- ・相談件数 199件（再掲）【238件】
- ・相談内容（件）

経営全般	資金	マーケティング	労務	ビジネスプラン	法律	ISO	その他	合計
178	8	3	3	3	1	1	2	199

(4) 地域拠点経営セミナー

No.	開催日	テーマ
1	10.21	PIA フェスタ 2016 特別セミナー ドローンの世界へようこそ ～初めてのドローン体験～
2	11.25	平成28年度補正予算を活用しよう！ ～経産省が語る施策活用とは～
3	3.7	PIA メッセ 2017 産連協/中小機構関東/IDEC 共催セミナー ①外資企業との取引に向けた販売戦略 ②「近隣高校生の就職に関する考え方、就職動向等について」 ③「知っておきたい『労働契約』の基礎知識」

エ 経営コンサルティング事業

経営革新、経営基盤の安定・強化、横浜型地域貢献企業の認定取得等を目指す中小企業を支援するため、横浜ビジネスエキスパートを企業に派遣し、継続的な経営コンサルティングを行いました。

- ・派遣企業数 18社【21社】
- ・派遣回数 127回（半日単位）【129回】
- ・コンサルティング内容（社）


経営革新・改善	規格認証	IT	マーケティング	生産管理	その他	合計
5	5	4	2	1	1	18

オ 中小企業支援コンシェルジュ事業

「販売・企画戦略マネージャー」と「広報戦略マネージャー」の5名の専門家と財団職員がチームを構成し、販売・企画、広報戦略などの実践的な提案・助言を行うコンサルティング支援を行いました。

- ・支援件数 19件【16件】
- ・主な支援事例

事業者名	支援テーマ	成果
Yokohama Makers Village 	金属加工の組合わせで作られた Flower Vase（花器）を用いた海外展示会への出展支援	世界最大級のインテリア見本市出展に係る展示商品の企画設計からブランディングを含めた出展支援及び販売戦略支援実施。 ELLE DÉCOR 等、世界的に著名な雑誌へ掲載される。 また、国内外のデザイナーや企業からの引き合い多数。
有限会社 落合製作所 	自社商品である、「アルマイト加工を施した金属アクセサリー」の販路開拓支援	D&DEPARTMENT による渋谷ヒカリエでの企画展「47 accessories 2 -47 都道府県のアクセサリー展-」にて神奈川県代表として選出。展示販売実施。 伊勢丹新宿本店での商品販売実施、2週間で約600千円を超える売上。また、伊勢丹本店との直接口座開設も実現。
株式会社 コレッド 	新商品の「お風呂用エクササイズバイク」の販路開拓支援	NHK「おはよう日本」等各メディアで取り上げられる。ディノス等ネットショップでの販売網拡大、Yahoo ショッピングや amazon では、カテゴリ内でのランキング1位も獲得。店舗では、東急ハンズ等でも販売。 860台超を販売し、創業初年度で10,000千円超の売上を計上。
株式会社 ジー・ナビゲーション 	「絵巻き寿司の体験教室及びインストラクター認定教室」の売上拡大支援	販路開拓・PR支援の実施。 読売新聞、朝日新聞等での掲載多数。 自由が丘のセレクトショップでの店頭販売イベント等を行い、商品の知名度アップや教室の受講者増加に繋がる。また、老舗料理教室「魚菜学園」とのタイアップ実現。

株式会社 サンエス		微粒子の侵入を防ぐ「ツインシステム網戸」の知名度の獲得、販売拡大支援	販売拡大に向けた PR 支援の実施。 製品のパンフレット等を見直し、顧客に訴求しやすい仕様に変更を加えたことで、注文・見積もりが増加。 また、火山灰対策の商品として、鹿児島県内での販売活動も展開し、売上実績が向上した。
--------------	---	------------------------------------	---

カ 情報発信事業

メールマガジン「横浜企業経営サポートマガジン」を2週間に1回発行し、企業経営や創業支援に関する情報提供を行いました。

- ・メールマガジン登録者数 6,937名
- ・発行回数 28回

また、横浜市をはじめ、国・県等の助成金及び支援策に関する情報等を一元的に収集、整理し、中小企業に対して財団ホームページやメールマガジンにより情報発信しました。

- ・メールマガジン登録者数 8,332名
- ・発行回数 25回

キ ビジネス人材育成事業

(7) 創業セミナー

産業競争力強化法に基づく「横浜市特定創業支援事業」の一環として、会社設立時に税等の優遇措置を受けることができる「IDEC横浜創業セミナー」のほか、創業に対する心構えや基礎知識、資金調達方法、財務や法務などの創業者が抱える課題を取り上げるセミナーを30回開催し、754名の参加がありました。

a IDEC 横浜創業セミナー（横浜市特定創業支援事業）

前期（6～8月）と後期（9～11月）の2クール開催。

No.	前期開催日	後期開催日	テーマ
1	6. 20	9. 27	自分の「事業の核」をつくる
2	7. 4	10. 11	お客様は誰？「売れるしくみ」を考えよう
3	7. 19	10. 25	創業に必要な資金計画
4	8. 1	11. 8	長く続く会社の作り方

b 起業チャレンジセミナー

No.	開催日	テーマ
1	4. 19	起業チャレンジセミナー（4月）
2	6. 24	起業チャレンジセミナー（6月）
3	8. 25	起業チャレンジセミナー（8月）
4	10. 18	起業チャレンジセミナー（10月）
5	12. 6	起業チャレンジセミナー（12月）
6	2. 16	起業チャレンジセミナー（2月）

c 日本公庫創業セミナー

No.	開催日	テーマ
1	5.19	創業計画の立て方 ～金融機関から見たポイント～
2	7.21	飲食店成功への道 ～創業事例から学ぶ～
3	9.13	創業計画の立て方 ～金融機関から見たポイント～
4	1.19	飲食店成功への道 ～創業事例から学ぶ～
5	3.14	創業計画の立て方 ～金融機関から見たポイント～

d 創業のホームページ

No.	開催日	テーマ
1	7. 1	WordPress を使って自分でホームページを作成する！
2	10.20	WordPress を使って自分でホームページを作成する！
3	2. 6	【中級編】WordPress をもっと 活用してホームページを作成する！

e その他の創業セミナー

No.	開催日	テーマ
1	7.28	ケーススタディで学ぶ！事業計画作成のポイント
2	8. 2	創業に必要な実践経理術～経理のポイントを押さえて楽々経理～①
3	8. 4	創業に必要な実践経理術～経理のポイントを押さえて楽々経理～②
4	8.29	創業時から知っておきたい法律と契約の基礎知識
5	10.17	企業価値を上げる写真と撮影方法
6	11. 2	社会のニーズ・潮流を踏まえた事業計画書の書き方
7	11.15	不振店を作らないお店の商圈と立地の見分け方
8	11.21	NPOと株式会社2つの法人形態でいかに想いをビジネスで叶えるのか？

(4) 課題解決セミナー

IT 活用や販路開拓・マーケティングなど中小企業が課題としているテーマを取り上げてセミナーを開催し、市内中小企業の経営課題の解決及び経営力向上を図りました。

No.	開催日	テーマ
1	5.20	Web を使った販路開拓 ～ネットツールの選び方、活かしかた～
2	6.21	売れる！中小企業のマーケティングセミナー
3	7. 5	100%生かし切る！中小企業の実践インターネット活用 2016
4	7. 7	狙いどおりに掲載される！「マスコミが取りあげたくなる プレスリリースの書き方」
5	7.12	今ならまだ大丈夫!! 8割の経営者が誤解している決算書の見方、活かし方①
6	7.14	今ならまだ大丈夫!! 8割の経営者が誤解している決算書の見方、活かし方②
7	9. 1	見せるだけで注文が入る！チラシ・パンフレットの作り方
8	9. 6	新規開拓、商談で成果を出す自社の魅力の伝え方

9	9. 7	中小企業の生産性を高める健康経営
10	9. 12	商売に活かす Facebook
11	10. 5	競合に真似されない戦略の作り方、商品の売り方
12	10. 13	聴いた人から売り上げアップ！ 商品・サービスの魅せ方、伝え方
13	11. 10	アクセス解析入門！Google Analytics を利用してHPを改善するコツとは？
14	11. 24	社員をやる気にさせる賃金 ～賃金の原点は業績給～
15	12. 6	中小企業の広報戦略を考える～日経各紙の視点を知り、自社の広報戦略に役立てる！～
16	1. 16	ビジネスで差が出る動画活用術
17	1. 23	収益アップと業務効率化につなげるエクセルデータ入力&集計セミナー
18	1. 24	小さな会社が成長し世界を目指すようになるまで
19	3. 7	求職者に選ばれるための発信力・プレゼン力
20	3. 9	経営者が最低限押さえておきたい震災時の経営リスク回避法

(ウ) 出張セミナー

区役所（鶴見、都筑）との共催で、出張セミナーを開催しました。

No.	開催日	テーマ
1	11. 9	「売れる企画」と「営業のプロセス化」が販路開拓のポイント！
2	1. 19	補助金活用でステップアップ！～補助金申請から活用までのイロハをお伝えします～

ク ビジネスプラン事業化支援事業

横浜市内で新たな事業を行う起業家の発掘・育成に向けて「横浜ビジネスグランプリ 2017」を開催しました。

また、前年度のファイナリストに対して、ビジネスマッチングや事業の立ち上げに向けてフォローアップを行い、事業の成長発展や起業への支援を行いました。



横浜ビジネスグランプリ 2017 ファイナル

(ア) グランプリファイナル

ファイナリスト 10 名によるプレゼンテーションの結果、最優秀賞、一般部門優秀賞、女性起業家賞、学生部門優秀賞及びオーディエンス賞を決定しました。

- ・開催日 2月18日（土）
- ・会場 ランドマークホール
- ・来場者数 267名

・参 考 横浜ビジネスグランプリ 2017 応募状況

	一般部門	学生部門	合 計
応募件数 (件)	107	38	145
セミファイナリスト (名)	15	7	22
ファイナリスト (名)	7	3	10

・受賞者一覧

賞	氏名 (敬称略)	企業名等	プラン名
最優秀賞	西田 亮介	チトセロボティクス	最短3分で利用できるロボットのクラウドマネジメントサービス
一般部門優秀賞	堀 宏治	株式会社ペットボードヘルスケア	横浜ワンニャン健康クラブ
女性起業家賞	楠 佳英	株式会社ビヨンドザリーフ	高齢者の技術を紡ぐ、手編みバッグブランド
学生部門優秀賞	志賀 里沙子	駒澤大学	受験生の救世主 “iLock”
オーディエンス賞	堀 宏治	株式会社ペットボードヘルスケア	横浜ワンニャン健康クラブ

(イ) フォローアップ実施結果 (主な成果)

横浜ビジネスグランプリ 2016 のファイナリスト等に経営コンサルティング事業や中小企業支援コンシェルジュ事業等のメニューを活用してフォローアップを実施しました。

企業名等	氏名 (敬称略)	フォローアップ実施結果
Trim 株式会社	長谷川 裕介	授乳・おむつ換え検索アプリによる事業展開。横浜市中区に本社を移転。資金支援として日本政策金融公庫に繋ぎ、融資実行。横浜市港北区や瀬谷区等とマッチング支援し、区役所との取引開始。
株式会社コレッド	中里 智章	家庭用アクアバイクを開発。営業販売支援を実施し、創業初年度に 10,000 千円超の売上向上を支援。
株式会社ジーナビゲーション	中矢 千賀子	絵巻き寿司教室を展開。都内雑貨店での店頭販売を支援し、老舗料理教室とのタイアップが決定。読売・朝日等の新聞掲載や台湾など海外メディアからの取材などメディア露出が増え、インストラクター事業も開始。

(ウ) 社会起業家等応援事業

保育、子育て、介護、コミュニティ等「社会的課題」の解決に向けた有望なソーシャルビジネスプランに対し、助成金交付を決定しました。

企業名	プラン名	交付決定額
フーズマイルぐら	高齢者の段階に合わせた食事の提供および弁当の販売	1,500 千円

(2) 女性起業家支援事業

女性向けスタートアップオフィス「F-SUS よこはま」の運営、「起業実践講座」や「女性経営者ステージアップ講座」の開催、出店体験イベントや事業 PR・交流の場を提供する「F-SUS サロン」、先輩女性経営者からアドバイスを受ける「女性経営者メンター事業」等を実施しました。28年度はF-SUS よこはま入居希望者の増加に対応するため、施設を整備し、会員数を6名増やして38名としたほか、新たに専任のインキュベーション・マネージャーを配置し、会員支援機能を強化しました。また、「F-SUS よこはま」開設5周年を記念して、講演会と交流会を開催しました。

ア 「F-SUS よこはま」会員数

38名【32名】

- ・インキュベーション・マネージャー相談件数 275件（再掲）
- ・相談内容

経営全般	IT	マーケティング	ビジネスプラン	資金	会社設立	取引適正化
61	62	58	37	14	6	2
税務	労務	事業提携	特許	その他	合計	
2	2	2	1	28	275	

イ 女性起業家支援チーム相談

- ・相談件数 1,025件（再掲）【1,041件】
- ・相談内容（件）

経営全般	資金	マーケティング	ビジネスプラン	会社設立	税務	法律
445	197	148	106	32	19	13
取引適正化	特許	IT	労務	その他	合計	
11	7	6	3	38	1,025	

ウ 女性起業家支援セミナー等

横浜市内における女性の起業促進と女性経営者の成長支援として、「起業実践講座」や「女性経営者ステージアップ講座」、「F-SUS サロン」を開催しました。「F-SUS サロン」で実施した「横浜赤レンガ倉庫の出店イベント」や「ベンチャーピッチ」では、当日の集客活動も強化し、いずれも前年度に比べ来場者数が2倍となりました。

(ア) 女性のための起業実践講座

No.	開催日	テーマ
1	8.19	①ビジネスプラン作成ワークショップ
2	8.26	②企業ブランドの作り方
3	1.20	③ビジネスプラン作成ワークショップ
4	1.27	④企業ブランドの作り方

(イ) 女性経営者ステージアップ講座

No.	開催日	テーマ
1	10.15	事業のステージを1段階上げるために経営者として考えること①
2	10.22	事業のステージを1段階上げるために経営者として考えること②
3	10.29	事業のステージを1段階上げるために経営者として考えること③
4	11.19	事業のステージを1段階上げるために経営者として考えること④

(ウ) F-SUS サロン

No.	開催日	テーマ
1	6.14	F-SUS よこはま開設5周年記念講演会&交流会
2	7.28	キラリと光る商品・サービスの作り方～ブランディングとコミュニケーション戦略～
3	10.24	赤レンガ倉庫出店①講義
4	11.8	赤レンガ倉庫出店②講義
5	11.21	赤レンガ倉庫出店③講義
6	12.6	赤レンガ倉庫出店④出店
7	12.19	赤レンガ倉庫出店⑤講義
8	2.27	女性起業家ベンチャーピッチ事前研修会
9	3.9	女性起業家ベンチャーピッチ



赤レンガ倉庫出店イベント

エ 女性経営者メンター事業

先輩女性経営者と交流しながら助言を受けることができる「女性経営者メンター事業」を中級編と上級編にわけて実施しました。

(ア) 中級編

- ・メンターミーティング 2グループ4名 各4回
(経営コンサルタント 4名)

(イ) 上級編

- ・メンターミーティング 2グループ2名 各5回
(女性起業家経営者2名、コーディネーター2名)



メンターミーティング (中級編)



各グループでミーティングを実施

(3) 横浜型地域貢献企業支援事業

地域を意識した経営を行うとともに、本業その他の活動を通じて、環境保全活動、地域ボランティア活動などの社会的事業に取り組んでいる市内企業を「横浜型地域貢献企業」として認定し、認定企業の PR 等を通じて、これら企業の経営を支援しました。「企業の社会的責任 (CSR)」と「地域に密着した経営」の二つの視点から、外部評価員が企業を訪問して評価を行い、認定委員会において認定を行いました。



地域貢献企業認定証授与式

ア 28 年度認定数

60 社 (全体認定企業数 426 社)

イ 認定式

2 回 (10 月 24 日 (月)、3 月 28 日 (火))

(4) 中小企業団体等運営支援事業

ア 運営支援事業

事業協同組合等、市内中小企業団体の運営・法律・登記等の相談対応や会員団体等が実施する研修事業について、講師派遣や会場経費の一部を助成する事業を実施しました。

- ・相談件数 10 件【16 件】
- ・助成件数 3 件【1 件】

イ 会員等情報提供・交流事業

会員団体等を対象に、国の平成 28 年度補正予算の概要と、ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金の概要に関する説明会を 2 回実施しました。(一部再掲)

- ・開催日 11 月 16 日 (水)、25 日 (金) (2 日開催)
- ・講師 経済産業省関東経済産業局・神奈川県中小企業団体中央会
- ・参加者 延べ 89 名

2 技術支援事業

(1) ものづくりコーディネーター事業

ア ものづくりコーディネーターの派遣及びマッチング会の開催

市内中小製造業の新分野進出、新製品開発等を支援するため、大企業や中小企業等とのマッチングを実施しました。28 年度は IoT への活用が見込まれるデバイス、センサー等を重点テーマ (分野) と定め、優先的にマッチングを実施しました。平成 28 年度は成約率が高い中小企業同士の 1 対 1 でのマッチングを重点的に行いました。

- ・マッチング社数 155 社【165 社】
- ・マッチング回数 255 件【315 件】
- ・コーディネーター派遣件数 871 件【965 件】

支援対象	成果
ソフトウェア開発 (中区)	国の研究機関の電力制御システムの製品化ニーズに基づくマッチングを行った結果、当該企業が共同開発に参画。

試作品設計（鶴見区）	横浜の大学発ベンチャー企業とマッチングを行い、試作を得意とする当該企業が治具の設計・製作を受注。
------------	--

イ 大手企業等との商談会

大手企業とのマッチング機会を提供するため、マッチング会を開催・参加しました。

大手企業1社と横浜企業複数社とのマッチング会（当財団主催）	11回開催
大手企業複数社と横浜企業複数社とのマッチング会（他機関主催）	6回開催

ウ 大学との基本協定締結

市内中小企業と大学との連携強化、人材の育成・交流に関することなどを主目的に、新たに2大学と協定を締結しました。

No.	締結日	協定締結先
1	3.24	神奈川大学
2	3.29	慶應義塾大学 SFC 研究所

エ 産学交流サロンの開催

大学及び企業の研究シーズを発表する機会を設け、産学連携や企業間連携を推進しました。

(ア) IDEC 横浜主催の産学交流サロン

No.	開催日	セミナー名
1	12.16	横浜・加工技術セミナー（埼玉大学）
2	1.19	横浜・最新技術セミナー（横浜国立大学）
3	2.1～3	テクニカルショウヨコハマ2017 産学連携ワークショップ
4	3.2	陸上養殖ビジネスの最新動向（東京海洋大学）
5	3.24	次世代電池の未来（神奈川大学）

(イ) 大学との共催によるセミナー

No.	開催日	セミナー名
1	10.26	慶應義塾大学 未来志向の技術 ∞ ビジネス創発交流会
2	12.14	東海大学 産学連携フォーラム2016

オ テーマ別研究会の開催

市内ものづくり企業の競争力を高めることを目的に、学界・産業界の協力を得て加工技術の高度化、課題解決などをテーマとした研究会等を開催しました。IoT分野のテーマ設定も新たに含め、より広い分野の課題解決を目指しました。

(ア) 基盤技術研究会

No.	開催日	テーマ
1	8.26	樹脂型で実製品と同じ樹脂材を射出成形する新技術 ほか
2	10.21	3Dプリンタ義足の臨床応用例と今後の課題 ほか

(イ) ロボットを作って動かす！実践ゼミ【中級編】二足歩行ロボットを組み立てよう！

No.	開催日	テーマ
1	12. 5	ロボット設計データの発表
2	12.13	3Dプリンタで作成した部品を使って組み立てよう！
3	1.17	歩行に必要な足と胴の部分を完成させ、プログラミング開始！
4	1.26	ロボットを歩かせる

(ウ) IDEC 次世代見守りシステム研究会

No.	開催日	テーマ
1	8. 9	非接触生体信号検出及び見守り技術 ほか
2	12. 2	高齢者見守りサービスの取り組みと今後の展開について ほか

(エ) ファインバブル利活用研究会

No.	開催日	テーマ
1	4.15	ファインバブル（マイクロ・ナノバブル）の洗浄への応用の可能性
2	7. 1	農業分野への応用について
3	9.21	基礎物性を利用した水質環境浄化技術
4	2.22	ナノバブルを見る ～その効果と評価法について～

カ 「横浜グローバルものづくり企業ガイド2016」発行

横浜ものづくり中小企業を紹介する冊子を作製し、中小企業の販路開拓支援や大手企業、大学・研究機関等との連携支援に活用しました。

- ・発行日 6月30日(木)
- ・掲載企業数 149社
- ・発行部数 3,000部



キ 展示会への出展

展示会に市内中小企業や大学と共同出展し、新技術のプロモーションや産学連携の推進、ビジネスチャンスの創出をはかりました。

(ア) 2016 “よい仕事おこし” フェアへの出展

- ・開催日 8月2日(火)～3日(水)
- ・会場 東京国際フォーラム
- ・内容 財団事業紹介パネルの展示、チラシの配布等

(イ) 産業交流展2016への出展

- ・開催日 10月31日(月)～11月2日(水)
- ・会場 東京ビッグサイト
- ・内容 財団事業紹介パネルの展示、チラシの配布等

(ウ) 組込み/IoT 総合技術展 (ET/IoT2016) への横浜パビリオン出展

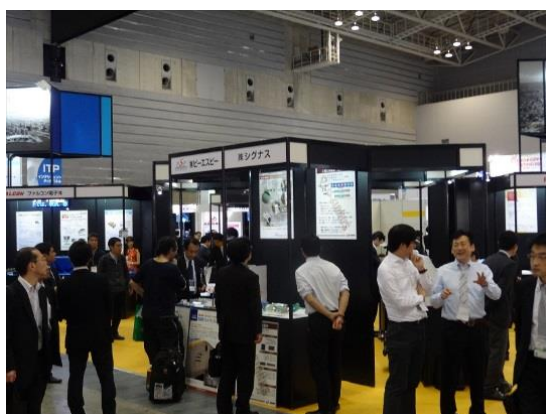
- ・開催日 11月16日(水)～18日(金)
- ・会場 パシフィコ横浜 展示ホール
(横浜パビリオン実績)
- ・出展企業 17社
- ・パビリオンへの来場者 2,650名
- ・商談件数 54件

(エ) 第17回慶應科学技術展 (KEIO TECHNO-MALL 2016) へのブース出展

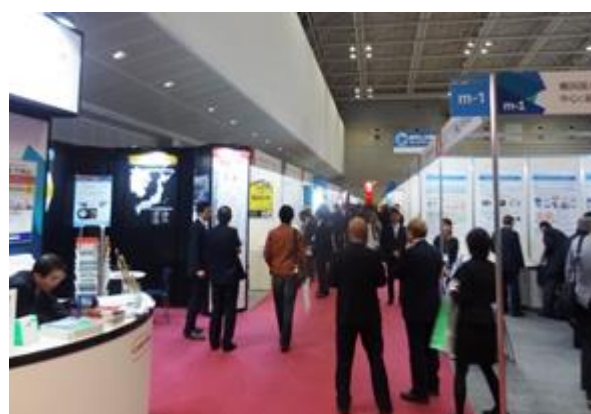
- ・開催日 12月16日(金)
- ・会場 東京国際フォーラム
- ・内容 財団事業紹介パネルの展示、チラシの配布等

(オ) テクニカルショウヨコハマ2017 よこはま産学・企業間連携コーナーの出展

- ・開催日 2月1日(水)～3日(金)
- ・会場 パシフィコ横浜 展示ホールC・D
- ・出展概要 21小間
 - ▶大学・関係機関コーナー：市内連携大学、広域連携大学、その他計12大学
 - ▶IDEC事業PRコーナー：産学・企業間連携事業に関する取組や技術開発成果を紹介
- ・産学連携ワークショップ (12小間・参加者315名)



ET2016 横浜パビリオン



テクニカルショウヨコハマ2017

ク メールマガジンによる情報発信

メールマガジン「よこはま産学交流ニュース」を発行し、産学・企業間連携や技術開発支援に関する情報提供を行いました。

- ・メールマガジン登録者数 5,693名
- ・発行回数 19回

(2) 現場訪問支援事業

個別企業の強みや課題を現場目線で把握するとともに、支援策の活用を促すことにより企業の課題解決を支援するため、横浜市職員、財団職員、コーディネーターなどがチームを組んで中小企業を訪問し、財団や横浜市の支援策を紹介しました。

- ・訪問社数 141社【140社】

(3) クリエイティブものづくり支援事業

中小製造業のデザイン性豊かな製品開発や販路開拓を支援するため、クリエイターとの連携を促進しました。

- ・同事業に参画の可能性のある市内中小企業の情報収集・紹介 143社
- ・企業の現場訪問及びヒアリング 31回
- ・同事業の市内企業向け広報 年2回

(4) 横浜環境ビジネスネットワーク事業

ア セミナーの開催

市内中小企業の環境ビジネスへの新規参入を支援するため、セミナーを開催しました。
環境ビジネスセミナー

No.	開催日	テーマ
1	6. 28	環境発電技術（エネルギーハーベスティング）
2	10. 3	バイオマス発電の現状とビジネスチャンス
3	10. 28	水素エネルギーの可能性と水素インフラ事業への取組み
4	11. 14	振動発電の次世代技術
5	1. 25	熱電発電の最新技術

イ 展示会出展

「スマートエネルギーWeek2017」に横浜パビリオンを出展し、市内の環境・エネルギー関連企業の販路開拓を支援しました。

- ・開催日 3月1日(水)～3日(金)
- ・会場 東京ビッグサイト
- ・横浜パビリオン出展企業数 5社



第7回 スマートグリッド 2017 横浜パビリオン



同展示会 横浜パビリオン全体

ウ ホームページ及びメールマガジンによる情報発信

メールマガジン等により、環境エネルギービジネス関連情報を市内企業に提供しました。また市内の当該分野企業 29 社の情報を掲載したガイドブックを作成し、販路開拓支援や大手企業、大学・研究機関等との連携支援に活用しました。

- ・メールマガジン登録者数 356 名
- ・発行回数 19 回

(5) 中小企業技術相談事業

生産活動や技術開発において課題を有する市内中小企業等を、「技術アドバイザー」が訪問し、改善、解決に向けたアドバイスをを行いました。

・相談件数 106件【153件】

・相談内容（件）

環境・省エネルギー	生産管理	電気・電子	機械設計	化学樹脂	バイオ・食品
38	13	13	7	6	6
情報技術	計測制御	機械加工	金属材料	その他	合計
5	3	3	1	11	106

・成果事例

支援対象	支援内容
食品製造販売（鶴見区）	健康食品製造における量産化の相談に対し、技術アドバイザーが手法の導入を提案。あわせて自社技術の権利確保のアドバイスをを行い、特許取得に向けた取組を開始。
運輸・倉庫業（金沢区）	省エネに向けたエネルギー効率の改善相談。空調運転時間の短縮に向けてデータ分析と現場調査を実施。倉庫温度管理にムラがあることが判明し、改善に向けてメンテナンスと設備改修の検討中。

(6) 外国特許出願支援事業

市内企業が外国特許庁等へ特許出願等の費用について国庫補助を活用して支援しました。

・支援企業（15社、17件）【14社、18件】

・交付額 13,280千円【13,285千円】

(7) 研究開発プロジェクト支援事業

国の競争的資金（戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業））を活用し、中小企業の研究開発を支援しました。

ア シーマ電子株式会社、横浜国立大学

テーマ 両面放熱機能を有する薄型SiC大電流パワーモジュールの製品及び製造技術開発

採択額 22,500千円【30,000千円】

終了年度 平成28年度

イ 株式会社高千穂、鹿児島県工業技術センター、藤田建設工業株式会社

テーマ 蓄熱・放熱機能付環境対応型塗壁材の開発

採択額 20,690千円【27,587千円】

終了年度 平成28年度

ウ 株式会社フローテック・リサーチ、立命館大学、東京工業大学、横浜国立大学

テーマ 小型可搬可視化プローブによる濃密浮遊粒子群の簡便測定技術の研究開発

採択額 20,587千円【31,182千円】

終了年度 平成29年度（予定）

エ 株式会社三陽製作所、東京電機大学、神奈川県産業技術センター、日本工作油株式会社

テーマ サーボプレスと CAE を高度利用した、低コストかつ環境配慮型の分流冷間鍛造製品開発

採択額 44,993 千円

終了年度 平成 30 年度（予定）

(8) 医工連携推進事業

ア 医療機器等参入済み企業に対する支援事業

(ア) 研究会の規模及び質の拡充、広報強化

平成 27 年度に立ち上げた「横浜医療機器ビジネス研究会」会員に IT・ソフトウェア企業を中心に追加し、42 企業・団体としました。会員増加にともない、研究会会員ガイドブックの刷新、研究会ウェブサイトの作成などを行い、会員企業の開発事例を医療機器メーカー、大学等へ広く紹介しました。

(イ) 勉強会・セミナーの開催

医療現場のニーズを紹介するセミナーを開催し、市内企業等の医療機器開発を支援しました。

No.	開催日	テーマ
1	6.20	産業界の参入容易さを目指した医療機器研究開発手法 ほか
2	10.18	横浜医療機器ビジネス研究会 開発事例紹介 ほか
3	1.18	病院視察会（社会福祉法人横浜栄共済病院）

(ウ) 介護・福祉機器開発セミナー、施設見学会

医療機器との関連性の高い「介護・福祉機器分野」をテーマとしたセミナー及び施設見学会を実施し、市内企業等の当該分野への参入を促進しました。

No.	開催日	テーマ
1	12.2	次世代見守り研究会（横浜ものづくりコーディネート事業との連携による）
2	2.15	施設見学会（社会医療法人財団石心会 川崎幸病院）

(エ) プロジェクト化支援

27 年度から支援を行っていたプロジェクト 2 件が、28 年度に横浜市、国の助成金を獲得するに至りました。うち 1 件は当財団が事業管理機関となり、製品開発に向けた支援を実施しました。

- ・株式会社ニッター（横浜市成長発展分野育成支援助成金）
- ・シンクランド株式会社（地域中核企業創出・支援事業）

(オ) 専門展示会・学会へのブース出展

医療機器関連展示会・学会へ出展を行い、研究会会員のプロモーションを推進しました。従来までの産業展示会に加え学会にも出展を行い、医師とのネットワーク作り等を実施しました。

No.	開催日	内容
1	4.20～22	Medtec Japan 2016

2	7.28～30	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
3	11.25～26	メディカルクリエーションふくしま 2016
4	12. 8～10	日本内視鏡外科学会



日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会



メディカルクリエーションふくしま 2016



日本内視鏡外科学会(シンクランド社)

(カ) 商談会の実施

横浜市内企業と医療機器商社との商談会を実施し、市内企業の事業機会拡大を支援しました。

- ・参加企業 4社

イ 医療機器ビジネス参入検討企業向けの支援事業

(7) 新規参入セミナーの開催

医療機器ビジネスへの参入促進及び啓発のため、新規参入セミナーを開催しました。

No.	開催日	テーマ
1	6. 6	デジタルヘルスの現状とビジネス参入の可能性
2	10. 7	医療ビジネス参入の実際

(イ) 参入個別相談会の開催

参入検討企業に対して、医薬品医療機器等法に関する「薬事関連相談会」を開催しました。相談企業のうち1社が、平成28年度に医療機器製造業の登録に至りました。

- ・相談対応企業数 5社【3社】

(9) 横浜 IT クラスタ交流会の共催

「横浜 IT クラスタ交流会」と共催で、半導体や組込み関連企業などを対象としたセミナー及び交流会を開催し、横浜における IT ビジネスの促進をはかりました。

No.	開催日	テーマ
1	4.14	自動運転=社会と技術のパラダイムシフト
2	7.14	人工知能とロボット
3	10.20	IoT ビジネス最新事例紹介 —インフラ・医療分野での取り組み—
4	1.26	医療現場を変える最新テクノロジー —VRとロボット—

(10) 中小企業つながるものづくり推進事業

インダストリー4.0など、IoTを活用したものづくりの最新動向や先駆的な取組を把握するため、展示会視察（ハノーバーメッセ）や中小企業への情報提供事業を実施しました。

- ・IoTセミナーの開催 8回

(11) CeBIT（国際情報通信技術見本市）2017 への横浜ブース出展

ドイツ・ハノーバーで開催された CeBIT2017 に横浜ブースを出展し、横浜市内の IT 企業の販路開拓支援及び横浜市の IoT 支援策の PR を行いました。

- ・会 期 3月20日(月)～24日(金)
- ・会 場 ドイツ・ハノーバー市 ハノーバー見本市会場
- ・横浜ブース出展企業数 3社
- ・商談件数 59件

3 国際ビジネス支援事業

(1) 相談事業

ア 個別相談

財団職員や横浜ビジネスエキスパート（海外事業の実務経験を有する商社・メーカー等の企業 OB やコンサルタント等 45 名）が、海外の投資環境や貿易実務等について専門的な助言を行いました。

- ・相談件数 421 件【566 件】

国・地域別内訳（件）

中国	タイ	ベトナム	北米	欧州	台湾
110	68	38	31	31	20
韓国	インドネシア	ミャンマー・カンボジア・ラオス	その他アジア・アジア全般	その他	合計
9	5	3	64	*42	421

*その他内訳 アフリカ、中南米、日本ほか

内容別内訳（件）

輸出	事業案内	拠点進出	市場情報	輸入	現地拠点	その他	合計
177	60	53	40	34	19	*38	421

*その他内訳 人材受入れ、海外視察手配、展示会 ほか

イ 国別・テーマ別国際ビジネス相談会の開催

相談が多い中国、タイ、ベトナム等の国・地域別や、輸出入・貿易実務等のテーマ別に国際ビジネス相談会を開催しました。

- 国際ビジネス相談会 48 回【54 回】

- ・国 別：中国 12 回、ベトナム 4 回、タイ、欧州各 3 回、ミャンマー・カンボジア、アセアン各 2 回、インドネシア、韓国、メキシコ各 1 回
- ・テーマ別：海外取引 8 回、海外進出 6 回、輸出入 3 回、貿易実務 2 回

ウ 海外サポートデスクによる支援

海外に事務所を置くコンサルティング会社等を海外サポートデスクとして登録し、現地情報の提供や視察の手配等の支援を実施しました。

- ・アジアサポートデスク利用件数 8 件【14 件】
(タイ 5 件、ベトナム 3 件)
- ・アジアサポートデスク対応国 7 か国 (11 都市)
(タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、インドネシア、シンガポール、中国)

(2) 海外情報提供事業

ア セミナー・交流会等の開催

海外経済機関や連携金融機関等と協力し、市内企業のニーズが高い中国、タイ、ベトナムなどの経済・投資環境等の最新ビジネス情報や TPP・BREXIT など世界的に関心の高いテーマによるセミナーを開催しました。

また、テーマ別分科会（少人数制）をシリーズで開催したほか、企業事例に学ぶ中小企業の海外展開セミナー“Yコネクト”を開催しました。

・セミナー 31回【26回】

(ア) 提携機関等との連携によるセミナー

No.	開催日	テーマ
1	4. 18	はじめての海外展開セミナーVI
2	4. 21	韓国投資環境説明会「最新の経済投資環境と高度人材活用プログラム」
3	5. 17	中国経済情報セミナー「『第13期5ヶ年計画』中の日系企業経営の諸課題」
4	5. 25	市場規模70兆円の中国ネット通販への挑戦
5	6. 8	タイ経済の現状とASEANの動向について
6	6. 10	韓国「釜山・鎮海経済自由区域」投資環境説明会「韓国経済自由区域を活用したアジア戦略とは？」
7	6. 22	TPP協定活用セミナー ～TPPを活用した関税コスト削減～
8	7. 25	台湾インターンシップ生受入企業説明会
9	9. 6	タイ・ベトナム投資環境セミナー
10	9. 7	2016年度下期の為替相場見通しとグローバル経済の現況
11	9. 28	「英国のEU離脱と日本企業への影響」セミナー
12	9. 28	インド経済セミナー & ネットワーキング
13	10. 5	ドイツ・インダストリー4.0セミナー
14	11. 7	横浜-上海経済技術フォーラム
15	11. 14	中国経済情報セミナー「当面の中国経済状況と日系企業事例報告」
16	11. 17	アジア・インフラビジネスセミナー
17	12. 8	アジアビジネスチャンス獲得セミナー（中国編）
18	12. 16	イスラエル・テルアビブのイノベーション
19	2. 3	テクニカルショウヨコハマ2017～産学連携ワークショップ～ 『上海事務所による中国ビジネス最新情報報告』
20	2. 10	2017年度の為替相場見通しとグローバル経済の現況
21	3. 17	<アリババ（阿里巴巴）への出品>越境EC販路拡大手法セミナー

(イ) Yコネクト セミナー&交流会

No.	開催日	テーマ
1	11. 22	アセアン人材セミナー～海外事業を成功させる人材をつくる～
2	2. 8	【中国編】アジアビジネスチャンス獲得セミナー
3	3. 6	中小企業のための海外進出セミナー&交流会

(ウ) テーマ別分科会

No.	開催日	テーマ
1	9. 29	横浜台湾ビジネスアライアンスプログラム 「IoT ビジネス/協業による海外市場の開拓セミナー」
2	10. 7	はじめての海外取引勉強会 (全3回)
3	10. 19	メキシコ投資環境セミナー&個別相談会
4	11. 25	横浜台湾ビジネスアライアンスプログラム 「IoTを身近な現場でどう活用するかを考える勉強会」
5	1. 13	すぐに役立つ貿易実務講座 (全3回) ①
6	1. 20	すぐに役立つ貿易実務講座 (全3回) ②
7	1. 27	すぐに役立つ貿易実務講座 (全3回) ③

イ 情報発信

メールマガジン「横浜発グローバルビジネスニュース」を月2回発行し、海外ビジネスに関する最新情報を提供しました。

- ・メールマガジン登録者数 5,293名
- ・発行回数 27回

また、海外事情に精通した専門家による海外現地レポートをホームページに掲載しました。

- ・掲載回数 12回
- (中国3回、タイ、ベトナム各2回、カンボジア、インドネシア、ミャンマー、フィリピン、メキシコ各1回)

(3) 海外ビジネス展開支援事業

海外経済機関等とのネットワークを活用し、市内中小企業が関心を持つ国との商談会開催や海外展示会への出展等により、市内企業の海外ビジネス展開を支援しました。

ア 横浜－上海経済技術交流合意項目事業の実施

(ア) 第4回中国(上海)国際技術輸出入交易会

- ・開催日 4月21日(木)～23日(土)
- ・会場 上海世界博覧展覧館
- ・出展企業 共同ブース出展2社

(イ) 第8回上海デザインビエンナーレ

- ・開催日 9月1日(木)～3日(土)
- ・会場 上海展覧中心
- ・出展企業 1団体

(ウ) 第18回中国国際工業博覧会 横浜ブース出展

- ・開催日 11月1日(火)～5日(土)
- ・会場 上海国家会展中心
- ・出展企業 単独ブース出展3社
共同ブース出展5社



第18回中国国際工業博覧会

(E) 第34回横浜-上海経済技術交流会議及び第1回横浜-上海経済技術フォーラム(再掲)

- ・開催日 11月7日(月)
- ・開催場所 上海

イ 海外ネットワーク活用によるビジネス展開の支援

(7) サブコンタイランド2016 IDECブース出展

- ・開催日 5月11日(水)~14日(土)
- ・会場 BITEC HALL105 (バンコク)
- ・出展企業 共同ブース出展2社、カタログ出展2社

(イ) ビジネスミッションの派遣

- ・台湾インターンシップ事前準備(10月5日(水)~7日(金))
- ・アユタヤ銀行商談会(11月15日(火)~19日(土))
- ・タイ・ベトナム投資環境視察団(11月27日(日)~12月3日(土))
- ・ドイツ CeBIT2017 展示会サポート(3月18日(土)~26日(日))

(ウ) 海外機関等の受入れ

- ・浙江省商務庁国際投資促進センター(5月6日(金))
- ・浙江省緑城教育集団(5月11日(水))
- ・広東省仏山市科学技術局(5月23日(月))
- ・浙江独山港経済開発区管理委員会(5月23日(月))
- ・君澤君法律事務所(5月25日(水))
- ・嘉定区沈华棣副区长(6月3日(金))
- ・釜山鎮海経済自由区域(6月9日(木))
- ・Carabao Group PLC. (7月5日(火))
- ・香港貿易発展局(9月8日(木))
- ・フランクフルトラインマイン国際投資促進公社(11月2日(水))
- ・バンクーバーエコノミックコミッション(11月21日(月))
- ・佛山早稻田科技服務有限公司(12月14日(水))

ウ 商談会・企業交流会の開催

タイの自動車部品、電気電子部品、機械部品メーカーや工業団地ディベロッパーとの「個別商談会」を開催しました。

- ・開催日 6月21日(火)
- ・タイ側企業数 27社
- ・商談件数 149件

エ タイ・ベトナムの提携レンタル工場への進出支援

提携先のタイコン・インダストリアル・コネクション(タイ)と KIZUNA JV(ベトナム)の運営するレンタル工場への進出を支援しました。

9月には「タイ・ベトナム投資環境セミナー」(再掲)にて最新情報の提供を行いました。

また、「タイ・ベトナム投資環境視察団」(再掲)の行程の中で、タイコンと KIZUNA JVの運営するレンタル工場を視察しました。

○アジア工業団地スワンナプーム (AIES) 11月28日(月)

○KIZUNA JV 12月1日(木)

(4) グローバル人材活用支援事業

市内企業のグローバル人材育成を支援するため、1月18日(水)から2月17日(金)まで、台湾国際企業人材育成センター(ITI)インターンシップ生 25名の市内企業 25社(うち新規受入6社)への受入れを支援しました。



ITIを訪問

(5) 海外進出支援事業

市内中小企業等の海外での現地法人の設立等を支援するため、調査委託費や通訳費など、F/S経費の2/3(最大90万円)を助成しました。また、調査支援のため、横浜ビジネスエキスパートを派遣しました。

採択企業 10社

No.	企業名
1	エイシン電機株式会社
2	株式会社キーストーンテクノロジー
3	株式会社 GRACE
4	株式会社シーク
5	株式会社日東ディード
6	株式会社ネオジャパン
7	株式会社ファインテック
8	株式会社プラントライフシステムズ
9	ベインワークス株式会社
10	株式会社ヤマヨ

(6) 海外企業ニーズとのビジネスマッチング事業

アジア諸国(中国、タイ、ベトナム、シンガポール、ミャンマー、インドネシア)の企業からコンサルティング会社が収集した基盤技術や自動化、環境・省エネ技術等の現地ニーズを専門コーディネーターが市内の中小企業につなぎ、横浜のものづくり中小企業の新たな「稼ぐ」仕組みを構築しました。

○海外ビジネスマッチングサポートデスク(現地ニーズを収集するコンサルティング会社)

中国 3社

- ・上海太比雅科技有限公司
- ・上海華鐘投資諮詢有限公司
- ・佛山早稻田科技服務有限公司

タイ 2社

- ・株式会社事業革新パートナーズ
- ・TOKYO DEVELOPMENT CONSULTANTS(T)CO.,LTD

ベトナム 4社

- ・株式会社事業革新パートナーズ
- ・TOKYO DEVELOPMENT CONSULTANTS(T) CO., LTD
- ・日本テピア株式会社
- ・株式会社ブレインワークス

TPP 署名国 2社

- ・株式会社事業革新パートナーズ（シンガポール、インドネシア）
- ・サイエスト株式会社（シンガポール、ミャンマー）

○海外ビジネスマッチングコーディネーター

8名

活動実績（件）

国名	ニーズ収集数	マッチング数
中国	38	31
タイ	14	14
ベトナム	29	29
TPP 署名国	17	17
合計	98	91

(7) 地域中核企業支援事業

経済産業省関東経済産業局 地域中核企業創出・支援事業(ハンズオン型)を活用し、中小企業の海外展開を支援しました。

企業名 株式会社パイオラックスメディカルデバイス

事業名 IVR 製品海外展開事業

採択額 8,000 千円

※ IVR Interventional Radiology の略 「画像下治療」X線やCT、超音波などの画像診断装置で体の中を透かして見ながら、細い医療器具（カテーテルや針）を入れて行う治療

(8) 上海事務所の管理運営

市内企業の中国への進出及び現地での事業展開を支援するため、相談やセミナーを実施しました。

また、横浜市代表事務所として横浜－上海間の友好交流や中国企業誘致、中国人観光客の誘客等を実施しました。

- ・所在地 上海市浦東新区陸家嘴環路 1000 号 恒生銀行大厦 7 楼
- ・面積 79.97 m²（駐在員オフィス、会議室ほか）
- ・運営体制 駐在員 2 名（所長、副所長）と現地派遣職員の計 4 名体制

ア 市内企業の中国販路開拓支援

展示会やマッチングプログラムへの出展・参加支援を行いました。

No.	開催日	内容
1	4. 21～23	中国(上海)国際技術輸出入交易会(上交会)（再掲）
2	4. 22～24	南京バカンスレジャー・キャンピングカー展覧会
3	5. 5～ 7	中国環境博覧会(IE Expo2016)
4	5. 13～16	義烏輸入商品博覧会

5	5. 19～21	昆山輸入交易会
6	6. 8～10	中国（上海）国際福祉機器展（CHINA AID）
7	7. 14～16	第9回 APEC 中小企業技術交流&展覧会
8	8. 2～ 4	ギフトショー in 上海
9	9. 1～ 3	上海デザインビエンナーレ（再掲）
10	9. 27～29	南京高齢者産業とリハビリ福祉博覧会
11	10. 20～23	中国(広東)国際”インターネット+”博覧会（仏山）
12	11. 1～ 5	中国国際工業博覧会（再掲）
13	12. 8～10	東莞国際科技合作週間



CHINA AID



上海デザインビエンナーレ

イ 中国ビジネス支援のための個別相談

各企業への個別相談を行いました。

- ・相談件数 400件【492件】
- ・相談内容内訳（件）

情報提供	販路開拓	調達	法律	人事労務
139	120	37	10	8
中国進出	新規事業	移転再編	その他	合計
7	5	1	73	400

ウ 上海進出市内企業の経営支援

上海周辺に進出した市内企業等による「横浜産業倶楽部（登録463名）」を組織し、情報や交流の場を提供しました。平成28年度は、上海市との共催にて横浜－上海経済技術フォーラムを開催しました。また、近年の生産拠点移転の動きに対応して、上海市内だけでなく江蘇省にてミニ産業倶楽部 in 蘇州を開催しました。

- ・「横浜産業倶楽部」の運営

No.	開催日	テーマ
1	9. 1	中国建設市場の求める日本の技術・デザイン
2	11. 6	上海市奉賢区 日系の無農薬野菜農場「ベジタベ」総経理講演と交流会
3	1. 18	中国高齢者産業への参入にあたり、アプローチの仕方を考える
4	3. 9	ミニ産業倶楽部 in 蘇州 蘇州新鋭工場見学と交流会
5	3. 27	中国での人事労務制度 最近の動向と対策

- ・上海日本商工クラブ F1 サーキット・上海汽車創新港研究所視察会（2月28日（火））

- ・事務所来訪者の対応 441名【407名】
- ・進出市内企業の個別訪問 32回【30回】
- ・メールマガジン発行回数 41回【40回】



横浜-上海経済技術フォーラム



横浜産業倶楽部

エ 中国企業の誘致

展示会・セミナー等によるプロモーションを行いました。

No.	開催日	内容
1	5. 19～21	昆山輸入交易会（再掲）
2	6. 22	中日協力セミナー（京浜京阪対日投資説明会）
3	6. 28	日中ビジネス交流会（京浜京阪対日投資説明会）
4	6. 29	深圳日中ビジネス交流フォーラム（京浜京阪対日投資説明会）
5	7. 6	香港対日投資促進セミナー
6	7. 26	北京市 横浜投資セミナー
7	9. 13	対日本投資法律講座開催 横浜への投資環境紹介
8	10. 20～23	中国（広東）国際”インターネット+”博覧会（再掲）
9	10. 20	京浜京阪対日投資説明会@広州
10	10. 21	京浜京阪対日投資説明会@深セン
11	12. 8～10	東莞国際科技合作週間（再掲）
12	12. 21	上海対日投資セミナー
13	2. 24	常州投資セミナー
14	3. 31	京浜京阪対日投資説明会@北京

オ 中国人観光客誘客プロモーション事業

横浜市と連携し、中国人観光客の横浜への誘客に向けてセミナー開催や上海世界観光博覧会等へのブース・資料出展を行いました。

No.	開催日	内容
1	4. 22～24	南京バカンスレジャー・キャンピングカー展覧会（再掲）
2	5. 19～22	上海世界観光博覧会（WTF）
3	6. 10～12	2016 山東（済南）国際旅游交易会
4	7. 1～ 3	2016 中国北方旅游交易会
5	9. 9～11	寧波旅游博覧会
6	9. 21～23	貴州省山地旅游観光大会 会議参加

7	12. 1	天皇誕生日祝賀レセプション（上海）観光展出展
8	2. 23～25	広州国際旅遊展覧会（GITF）出展

カ ミッション団等受入れ

No.	期 間	団体名等
1	5. 10	マリナーオブザシーズ 視察団
2	5. 19～22	横浜市 2016 上海世界観光博覧会（WTF）出展団
3	5. 25～28	貴陽国際ビッグデータ産業博覧会 出展団
4	6. 2	スポンジシティ共同溝道路関係技術交流会 出展団
5	6. 8～10	中国（上海）国際福祉機器展「CHINA AID」2016 出展団
6	7. 5～ 7	香港対日投資促進セミナー 経済局・都市整備局・JETRO 横浜
7	7. 13～16	APEC 中小企業技術交流展覧会 出展団
8	7. 18	東京青年古典楽団 Youth Classic
9	8. 30～ 9. 4	上海デザインビエンナーレ 出展団
10	8. 31～ 9. 2	亜細亜大学 インターンシップ
11	9. 4～28	横浜市立みなと総合高校交流視察団 上海市工商外国語学校交流等
12	10. 11～13	港湾局 シートレード アジア太平洋クルーズ会議出席
13	10. 30～11. 6	工業博覧会 出展団
14	11. 4～ 8	第 34 回横浜-上海経済技術交流会議
15	11. 20～23	WHO 健康づくり世界大会訪問団
16	12. 5～ 9	国際局
17	1. 16～19	環境創造局 下水道技術交流団 ※金山工業園区視察含む
18	2. 9～10	港湾局物流運営課 COSCO との MOU 調印
19	2. 12～18	横浜上海公務員交流 上海横浜友好園再整備事業

4 産業活性化・金融支援事業

横浜市産業活性化資金の既存融資先等に対して、経営改善計画の策定に係るアドバイス等の事後支援を実施しました。

(1) 産業活性化支援事業

既存融資先から提出される現況報告書や毎期の決算書等から経営状況を把握し、必要に応じて専門家や関係機関等の協力を得て、経営診断及び改善事項の調査や経営改善計画策定等についてアドバイス等を行いました。

(2) 産業活性化資金融資事業

27 年度に引き続き、28 年度についても新規実行は行わず、既存融資の回収を着実に進めました。

＜融資残高＞	（平成 29 年 3 月 31 日現在）	4,174,577 千円
・ 特定開発事業	（9 件）	435,335 千円
・ 一般開発事業	（18 件）	3,057,042 千円
・ 一般貸付	（2 件）	682,200 千円

5 横浜メディア・ビジネスセンター管理運営事業

同センター7階で財団本部を、6階の一部で「F-SUS よこはま」を運営しました。

また、横浜市経済局金融課に7階の一部を貸し付け、市が保証認定業務等を実施することによって、中小企業者を資金面からもバックアップするワンストップサービスを提供しました。

さらに、6階の一部について、公認会計士の団体に貸付けを行いました。

入居テナントの管理

階	用途	入居企業数(グループ数)	入居率(%) (前年対比)
6階	事務所	2	100.0 (±0)
7階	事務所	1	
計		3	

6 インキュベーション施設の管理運営事業

(1) 鶴見末広センター

横浜市産学共同研究センター（実験棟・研究棟：JRC）及び横浜新技術創造館（リーディングベンチャープラザ：LVP）1・2号館の一体管理を行い、産学共同研究及びその成果等の試作開発、製品開発、事業化を進めるベンチャー企業等を支援しました。

また、インキュベーション・マネージャーが、横浜市、神奈川県等の企業助成制度の応募・申請を支援し、採択に結びつけたほか、販路開拓のための展示会出展やビジネスマッチング支援を行いました。

ア 研究室、オフィスの管理運営

横浜市産学共同センター入居テナントの管理

分野	入居企業数(社)	入居率(%) (前年対比)
製造技術関連企業	7	全体 100.0 (±0.0) ・実験棟 100.0 (±0.0) ・研究棟 100.0 (±0.0)
バイオ関連企業	5	
新素材関連企業	2	
インフラ・生活関連企業	1	
その他研究開発等企業	2	
計	17(実験棟:7 研究棟:10)	

横浜新技術創造館入居テナントの管理

分野	入居企業数(社)	入居率(%) (前年対比)
製造技術関連企業	10	全体 98.4 (+2.2) ・1号館 97.6 (-0.8) ・2号館 100.0 (+8.1)
バイオ関連企業	17	
IT関連企業	1	
インフラ・生活関連企業	4	
その他研究開発等企業	2	
計	34(1号館:24 2号館:10)	

イ 入居者交流会の開催

横浜市の中企業支援施策に関する情報提供や研究者間の親交を図る場として、入居者交流会を開催しました。

(7) 第1回 入居者交流会

9月14日(水)開催

「チームワークを強化するためのコツを紹介」

(イ) 第2回 入居者交流会

3月3日（金）開催

「経営戦略と伝える写真」

ウ 経営サポート業務

入居企業のニーズを把握し、創業、産学連携、人事・労務関連、販路開拓、知財戦略策定等総合的な支援を行いました。

エ 主な設備の補修・更新等

(7) 横浜市産学共同研究センター

構内電話交換機設備更新工事

実験棟各扉電気錠新設工事

(イ) 横浜新技術創造館

1・2号館積算電力量計の交換工事

1号館1階GHP2系統修理

危険物倉庫の改造



横浜新技術創造館外観

(2) 横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア

横浜金沢ハイテクセンター・テクノコアの管理運営を行い、研究開発、新技術・新製品開発及び新規事業分野の開拓を進める市内中小・中堅企業を支援しました。また、インキュベーション・マネージャーによる横浜市、神奈川県等の企業助成制度の相談会や情報提供を行いました。（再掲）

ア 研究室、オフィスの管理運営

入居テナントの管理

分野	入居企業数（社）	入居率（%）（前年対比）
環境・エネルギー企業	3	84.8(+ 0.4)
新素材関連企業	4	
バイオ関連企業	4	
その他研究開発等企業	9	
計	20	

※平成28年度中に喫煙室1室を貸出対象数(室)に変更。

イ 経営サポート業務

ものづくり等の革新的な取組にチャレンジする企業を支援する「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」に入居者が応募するための支援を行いました。

ウ 入居者交流会の開催

入居者間の相互交流や親交を図る場として、入居者交流会を開催しました。

7月7日（木）開催

「入居企業紹介、名刺交換会」

II 産業関連施設の管理運営事業（公2）

1 横浜情報文化センター管理運営事業

一般公開されている「日本新聞博物館」と「放送ライブラリー」を中心に、メディアの発展・情報関連産業の振興及び関内地区の活性化を図ることを目的として、施設の管理運営を行いました。

(1) 入居テナントの管理

階	入居者数	入居率(%) (前年対比)
3～5階	2	100(±0.0)
8～10階	1	
計	3	

(参考) 入館者数

施設名	入館者数(名)	前年対比(%)
日本新聞博物館	41,862	—
放送ライブラリー	104,110	+3.9
計	145,972	—

※新聞博物館はリニューアル工事のため27年8月から28年6月まで休館。
入館者数は、7月から3月までを集計したもの。

(2) ホール及び会議室等の管理運営

施設利用状況

施設名	利用件数(件)	利用者数(名)	稼働率(%) (前年対比)
情文ホール	597	41,986	55.7(+0.6)
大・小会議室	1,284	15,934	60.0(+1.4)
計	1,881	57,920	58.5(+1.1)

(3) 主な設備の補修・更新等

- ・空調用冷温水発生機分解整備
- ・機械式駐車場設備部品交換整備

(4) 情文プラザの利用促進

- ・企画展示等のスペース提供：10件（延べ18日） 入場者数：延べ4,332名
- ・児童・生徒等の昼食場所提供：56校 利用者数：4,683名

2 横浜メディア・ビジネスセンター管理運営事業

当財団が所有する同センター1階プラザを関内地区の活性化及び賑わいづくりの拠点として、民間事業者を活用した事業を実施しました。

<運営事業者>

株式会社テレビ神奈川

<事業内容>

「ヨコハマNEWSハーバー」の運営

- ・各種公開放送の実施及び地域活性化をテーマとした番組の制作
- ・地域の団体、企業等と連携した地域活性化イベント
- ・情報・映像機器等の設置による多種多様な情報の受発信

3 横浜市金沢産業振興センター管理運営事業

金沢産業団地企業の事業活動の円滑化や従業員の福利厚生の充実を図る施設として、ソフト・ハード両面で施設の利用促進に向けた取組及び管理運営を行いました。

(1) 入居テナントの管理

分野	入居企業数(社)	入居率(%) (前年対比)
事務室入居企業等	3	93.4 (+4.6)
店舗	7	
計	10	

(2) グラウンド・スポーツセンター及び研修室等貸出施設の管理運営

施設名	利用件数(件) (前年対比)	稼働率(%) (前年対比)
グラウンド・サブグラウンド	1,579(+ 683)	24.1(+10.0)
テニスコート	5,767(+ 3)	62.8(- 0.5)
体育館・トレーニング室	5,530(+1,083)	48.1(+ 0.3)
会議室等	2,818(+ 224)	13.8(+ 2.1)
ホール・展示室等	1,166(+ 36)	10.5(- 4.7)
計	16,860(+2,029)	30.9(+ 3.5)

(3) 施設の有効活用と活性化の取組

- ・金沢産業団地企業及び地域住民に対する会議室、体育館等の定期利用の促進
- ・金沢産業団地企業と地域住民等との交流促進等を目的としたイベント「2016 PIA フェスタ」の共催(10月21日(金)、22日(土))
- ・一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会の会員企業間及び関連団体等との交流促進等、産業団地企業の活性化を目的としたイベント「PIAメッセ2017」の共催(3月7日(火))

(4) 主な設備の補修・更新等

- ・高圧進相コンデンサー改修工事
- ・サービス棟1・2階空調工事
- ・グラウンドフェンス設置工事
- ・非常用放送設備更新工事
- ・非常用発電制御装置改修工事 等

(5) 金沢臨海部産業活性化研究会

金沢臨海部の産業活性化について、地元団体、金沢区及び横浜市経済局で検討してきた「金沢臨海部産業活性化プラン」策定に際して研究部会に出席しました。



金沢産業振興センター外観

Ⅲ 庶務事項

1 理事会

月日	件名	主な審議等	場所 その他
4. 1	—	【決議事項】 ・評議員会の開催について	みなし決議
4. 1	—	【決議事項】 ・業務執行理事の選定について ・常務理事の選定について ・事務局長の選任について	みなし決議
6. 10	第 1 回 理 事 会	【決議事項】 ・平成 27 年度事業報告及び決算について ・平成 28 年度定時評議員会の日時及び場所並びに 目的である事項の決定について 【報告事項】 ・平成 28 年度資金収支補正予算について ・IDEC 経営向上プロジェクトについて ・職務の執行状況等について	財団会議室
6. 27	—	【決議事項】 ・代表理事の選定について ・業務執行理事の選定について ・常務理事の選定について ・事務局長及び事務局次長の選任について ・非業務執行理事等との責任限定契約の締結について	みなし決議
3. 14	—	【決議事項】 ・平成 28 年度第 2 回評議員会の開催について	みなし決議
3. 28	第 2 回 理 事 会	【決議事項】 ・平成 29 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び 設備投資の見込みを記載した書類について ・短期借入金について ・中小企業の IoT 支援に関する事業実施に伴う情報化 支援基金の取崩し並びに中小企業 IoT 支援資産の造 成及び同資産取扱規則の制定について ・事務規則の一部改正について 【報告事項】 ・職務の執行状況等について	財団会議室

2 評議員会

月日	件名	主な審議等	場所 その他
4. 1	—	【決議事項】 ・理事の選任について	みなし決議
6. 27	定 時 評議員会	【報告事項】 ・平成 27 年度事業報告について 【決議事項】 ・平成 27 年度決算について	財団会議室

		<ul style="list-style-type: none"> ・任期满了に伴う評議員の選任について ・任期满了に伴う理事の選任について ・任期满了に伴う監事の選任について 【説明事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度資金収支補正予算について ・IDEC 経営向上プロジェクトについて ・職務の執行状況等について 	
3. 28	第 2 回 評議員会	【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度第 2 回理事会で決議及び報告した事項について 	財団会議室

3 監事監査

月日	件名	主な内容等	場所
6. 2 3	監事監査	・平成 27 年度事業及び決算に係る監査	財団会議室

4 広報紙 (IDEC ニュースレター) 発行

発行年月	号数	主な掲載内容
28. 4	第 17 号	横浜ビジネスグランプリ開催報告、「ものづくり補助金」認定機関としての取組紹介 ほか
28. 7	第 18 号	F-SUS よこはま、中小企業支援コンシェルジュ事業の支援体制強化について、サブコンタイランド 2016、Medtec Japan 2016 出展報告 ほか
28. 10	第 19 号	ドローンビジネス支援紹介、IDEC 利用者アンケート結果について、海外進出支援 (F/S) 助成金制度事例紹介 ほか
29. 1	第 20 号	出前経営相談報告、インキュベーション施設入居者支援事例、中小企業支援コンシェルジュ事業事例紹介 ほか

5 IDEC 利用企業へのアンケートの実施

- ・実施方法 メルマガ受信者全員に発送し、任意に回答を得ました。
- ・実施期間 8 月 2 日 (火) ～20 日 (土)
- ・発送件数 10,647 件
- ・回収件数 617 件 (回収率 5.8%)

6 人材育成

- (1) 部長級以上の管理職・役員を対象に、「ビジネスマネジャー検定試験」の公式テキストを参考文献として用い、OJT や PDCA の適正実施を目的とした月例の連続講座 (MA 塾) を開催しました。
- (2) 一般職員を対象に、公益財団法人神奈川産業振興センターと共同で支援事例成果報告会を行いました。
- (3) 現場に精通した専門人材の育成を目的に、課長級以下の職員に対して、IDEC 主催・共催を含む「専門知識が身につくセミナー」の受講 (4 回) を促進しました。
- (4) 全職員を対象に、ハラスメント及び広報に関する研修を実施しました。
- (5) 職員提案・表彰制度を試行実施しました。
- (6) 職員が描いているキャリア展望を把握し、より適材適所の人員配置に向けて、職員意向調査 (キャリアシート) の作成・提出を試行実施しました。

7 健康経営の推進

「健康経営」に取り組み、横浜市健康福祉局が実施している「横浜健康経営認証」において、「クラス A」を取得しました。

8 役員及び評議員（平成 29 年 3 月 31 日現在）

代表理事	牧 野 孝 一	公益財団法人横浜企業経営支援財団	理事長
業務執行理事	大 澤 吉 輝	公益財団法人横浜企業経営支援財団	常務理事・事務局長
理 事	岩 崎 幸 雄	学校法人岩崎学園	理事長
理 事	榎 本 英 雄	海洋電子工業株式会社	代表取締役社長
理 事	川 本 守 彦	川本工業株式会社	代表取締役社長
理 事	木 村 和 夫	公益財団法人横浜企業経営支援財団	事務局次長・総務部長
監 事	高 野 伊久男	公認会計士	
監 事	仁 平 信 哉	弁護士	
評 議 員	池 田 典 義	株式会社アイネット	取締役会長
評 議 員	石 川 清 貴	一般社団法人横浜市商店街総連合会	会長
評 議 員	上 野 誠	公益社団法人横浜貿易協会	会長
評 議 員	荻 島 尚 之	横浜商工会議所	専務理事
評 議 員	川 名 薫	公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会	理事長
評 議 員	佐 藤 信 夫	一般社団法人横浜市工業会連合会	顧問
評 議 員	林 琢 己	横浜市経済局長	

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。